

通貨ニュース(2016 年 4 月 26 日)

フィリピンペソ: 大統領選は接戦も、PHP への影響は一時的か

ポー氏なら PHP 相場安定へ、ドゥテルテ氏なら PHP 安か

5月9日(月)に投開票が行われるフィリピン大統領選挙では、事前の世論調査からは上院議員のポー氏とダバオ市長のドゥテルテ氏による接戦が予想される。今回の選挙ではフィリピン経済を高成長に導いてきた現アキノ政権の経済政策が継続されるかが注目されており、影の後継者とも呼ばれるポー氏の方が政策継続の可能性が高い。ドゥテルテ氏も経済政策に関しては大きな変更を行わないとみられるが、過激な物言いや独裁的とも言える政治手法への懸念は強く、同氏が当選した場合には政治的不透明感が高まるだろう。そのため、PHP 相場は、当選者がポー氏の場合には安定へ、ドゥテルテ氏の場合には PHP 安で反応することが予想される。また、世論調査に反して当選者がアキノ大統領の後継者であるロハス氏の場合には PHP 相場は安定、アキノ政権への批判姿勢が強く、汚職疑惑の根強いビナイ氏の場合には PHP 安で反応すると予想する。

但し、過去3回の大統領選挙前後の PHP 相場を見ると、選挙前後の市場の値動きは必ずしも大きいものとはいえず、今回の選挙を受けた PHP 相場の変動も一時的なものに止まる公算が大きい。

支持率上位2名が本命といえそうだが、最後まで分からない情勢

フィリピンの大統領選は、候補者の政治経験や公約などよりも人気度が当選に繋がりやすい。世論調査によると、中高所得者層と首都圏を中心に支持を拡大しているドゥテルテ氏(支持率33%)が、先月にポー氏(同24%)を上回る支

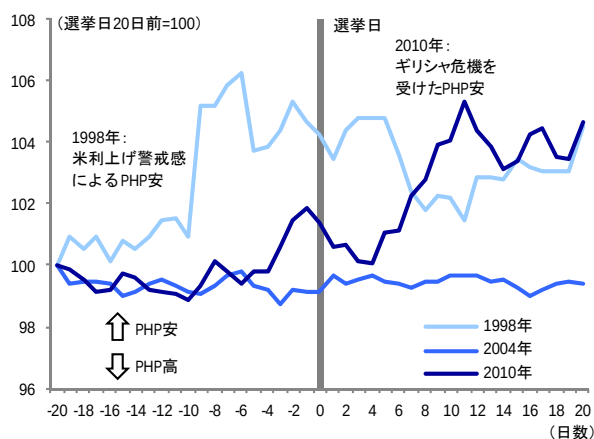
国際為替部

齋藤 周

03-3242-7065

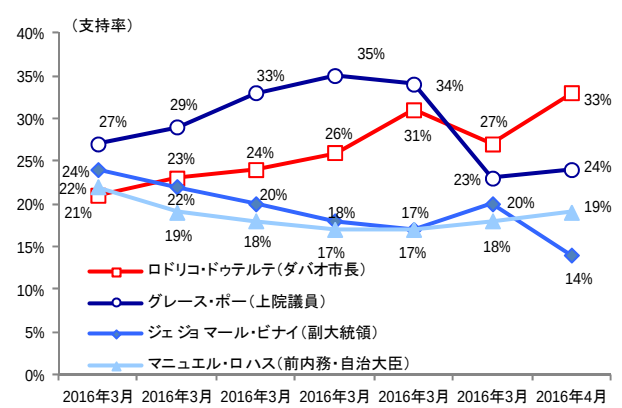
amane.saito@mizuho-bk.co.jp

図表1: 大統領選挙前後の USD/PHP 相場の推移



(資料)ブルームバーグ、みずほ銀行

図表2: 各候補者の支持率



(資料) Social Weather Stations、みずほ総合研究所、みずほ銀行

持を集めリードを拓けているものの、接戦となっている。両氏に対しては汚職が蔓延している旧来型政治を改革するとの期待感が追い風になっている模様だ。なお、ドゥテルテ氏の追い上げの背景には公開討論会での歯に衣着せぬ物言いが国民から好印象を得ることに成功したこともあるとみられる。一方、アキノ大統領の後継者とされた前内務・自治相のロハス氏は振るわず、副大統領のビナイ氏とともに2割を下回る支持率で伸び悩んでいる。そのため、支持率上位の2名が本命候補と言えそうだが、同調査の調査対象数が1800人と少ないことなどから、投票が行われるまで実際の情勢は判然としない。

経済政策に大きな違いはない

選挙戦では最大の注目点である①経済政策のほかに、②南シナ海を巡る中国との外交姿勢も論点になっている。

ドゥテルテ氏に関しては、①経済自由化や貧困層への課税廃止などへの言及もあるが、国政経験が無いため全体的な経済政策の方向性は未知数である。また、親族に中国出身者がいることもあり、②南シナ海を巡って対立している中国とは「まずは話し合うこと」と発言するなど融和姿勢を見せている。なお、同氏はダバオ市長時代に、武装した自警団を治安維持に活用したほか、自身も「誘拐犯を3人射殺した」と告白するなど、超法規的な政治手法を厭わない傾向がある。加えて、殺人事件被害者を揶揄する自身の発言が、米・豪大使から批判を受けた際には「大統領になったら（米・豪と）国交を断絶する」と発言するなど、過激な物言いが目立っている。ドゥテルテ氏の政治手法はかつて独裁政権を維持した故マルコス大統領を惹起させるものでもあり、同氏が当選した場合には、海外投資家が政治的不透明感の高まりを理由にネガティブに反応する可能性が高い。

また、ポー氏も政治経験が3年と短いことからその政治姿勢を読み取るのは

図表3：主要な大統領選挙候補者

名前 (所属政党)	主な経歴・政策など
ロドリゴ・ドゥテルテ ダバオ市長 (野党:PDP)	○ミンダナオ島に、フィリピン第3の都市ダバオの市長を7期20年以上務める ○強権的に犯罪者を取り締まり、自警団を組織。非合法的な処罰を行ってきたとの噂
グレース・ポー 上院議員 (無所属)	○育ての父親は俳優のフェルナンド・ポー。同氏は2004年の大統領選挙に出馬するもアロヨ氏に敗れ、直後に死亡 ○2013年の上院議員選挙で父親の人気を受け継ぎトップ当選
ジェジヨマル・ビナイ 副大統領 (野党:UNA)	○2010年の選挙で、現野党UNAの副大統領候補として立候補 ○80年代から2010年までの間、断続的にマカティ市長を務める。ばらまき政策などで地方とのコネクションを強化 ○マカティ市長時代から多くの汚職事件に関与している疑い
マニエル・ロハス 内務・自治大臣 (与党:自由党)	○フィリピンの第5代大統領(1946～1948年)、マニエル・ロハスの孫 ○2010年の選挙では、現与党自由党の副大統領候補として出馬。ビナイ氏に敗れる ○アキノ現大統領の後継者だが人気はあまり高くない

(資料)各種報道、みずほ総合研究所、みずほ銀行

難しい。しかしこれまでの発言内容を見ると、①経済政策については自由主義的で、TPP（環太平洋パートナーシップ協定）や FTA（自由貿易協定）への参加を明言している。また、税制改正の推進や外資企業の重要産業への参入障壁を下げることを目的とした投資関連法の自由化を掲げるなど、アキノ政権に近い立場にあると言えるだろう。②南シナ海を巡っても明確なスタンスは示していないが、多国間で法的枠組みに則って対応するとみられるほか、海軍と沿岸警備隊の近代化を志向しているなど、その立場は現政権と比較的に近い。

このほか、アキノ大統領の後継者指名を受けたロハス氏は、①国内への外資誘致を進めるとしているほか、②安全保障面で日米との連携を強化し、対中国で強硬姿勢をとるなど、基本的に現政権の政策を維持する見込みだ。

ビナイ氏は、①経済政策については、インフラ投資や多様な産業の振興、規制緩和など自由化姿勢をとっている。しかし、マカティ市長時代の汚職疑惑など、国民が求める清廉さからは程遠く、海外からの信頼感も高くないだろう。なお、②南シナ海の海洋資源について中国で共同調査を行うと発言するなどの中国との融和姿勢を明らかにしている。

中長期的には高い成長率を背景に PHP 高傾向が続く見込み

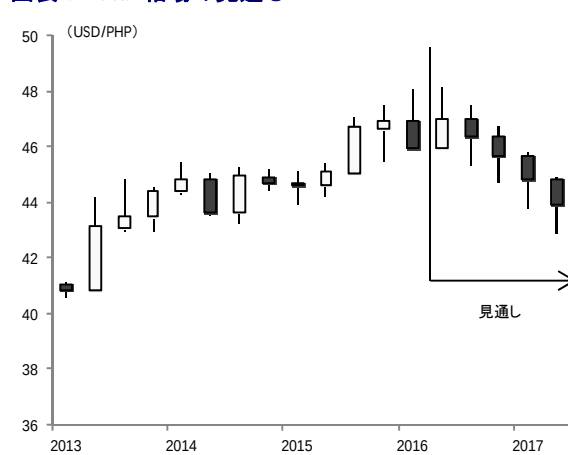
フィリピン経済は高い人口増加率や、2045 年まで続くことが予想される人口ボーナスなどファンダメンタルズ面からみて引き続き高い成長が期待できる。そうした中で、各候補者ともに大まかな経済政策の姿勢は外資誘致、規制緩和、貧困対策など似通っており、どの候補者が当選したとしても、足許で約+6%の経済成長率が大きく低下するとは考えにくい。確かに、為替相場に関しては、ポー氏及びロハス氏が当選した場合には、高い成長率を実現してきたアキノ政権の政策が継続されるとの期待感から、PHP 売り圧力の後退が見込まれる。一方、ドゥテルテ氏もしくはビナ

図表 4：各候補者の経済政策への姿勢

名前	経済政策
ドゥテルテ ダバオ市長	○ 貧困層への課税廃止 ○ 事業の許認可の迅速化(ダバオ市での実績有り) ○ 連邦制の推進(地方により多くの権限)
ポー 上院議員	○ TPPやFTAへの参加 ○ 投資関連法自由化で外資企業の重要産業への参入 ○ インフラ整備、現政権の現金給付政策の継続
ビナイ 副大統領	○ インフラ整備加速(外資規制の撤廃、PPPの推進、電力価格低下措置、インフラ支出拡大) ○ 多様な産業振興(OFW、BPO、製造業、農業、観光業) ○ 規制緩和、中小企業の資金調達等支援
ロハス 内務大臣	○ アキノ政権の改革継続 ○ 現金給付政策は継続の見通し(貧困世帯への医療費や学費などの支援)

(資料)各種報道、みずほ総合研究所、みずほ銀行

図表 5：PHP 相場の見通し



(資料)ブルームバーグ、みずほ銀行

イ氏の場合には政治的不透明感の高まりから PHP 安が続く見込みだが、好調な経済成長や米利上げ期待が縮小する中で、その動きは一時的なものに止まる可能性が高い。PHP 相場は 2017 年 1～3 月期にかけて対ドルで緩やかに上昇すると予想している。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。